

教科名	国語	科目	国語演習	週授業時間	2時間
-----	----	----	------	-------	-----

### 1. 教科書および副教材・参考書

教科書：「新しい国語3」（東京書籍）

副教材：「新しい国語 新出漢字の学習3」（東京書籍）

：「国語の学習3」（東京書籍）

：「国語便覧 千葉県版（デジタル版）」（浜島書店）※1年次に配付済

問題集：「つまづかない！文法の学習」（新学社） ※1年次に配付済

：「錬成テキスト 中3国語」（育伸社）

### 2. 授業の目標および内容

日常なにげなく使っている言葉にもいろいろな法則があることを学習します。

加えて、「話す・聞く」「書く」を中心とした様々な言語活動を行い、人との関わりの中で伝え合う力を高めます。

### 3. 試験について

	1学期		2学期		3学期
定期試験	一次 5月	二次 7月	一次 10月	二次 12月	期末 3月

#### ※内容・難易度について

①定期試験：教科書・副教材・問題集・プリントなどで、問題を作成します。

### 4. 課題・補習について

必要に応じて課題を出したり、補習をおこなったりします。

### 5. 評価の視点

定期試験を元に、小テスト、提出物、言語活動の取り組みなどを参考に平常点として、加点または減点して評価をします。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	<p>①和語・漢語・外来語</p> <p>①他教科で学ぶ漢字（1）</p> <p>①②助詞</p> <p>①②ビブリオバトル</p> <p>②間違えやすい敬語</p> <p>②熟語の構成・熟字訓</p>	<p>○和語・漢語・外来語の特徴について理解し、日常において適切な語彙を選択できるようにする。</p> <p>○他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使えるようにする。</p> <p>○助詞の働きについて理解し、正しく使えるようにする。</p> <p>○愛読書の理解を深め、他者に紹介する準備を進める。話す内容や順序を整理し、聞き手にとってわかりやすく説得力のある構成を考え、実践する。また、3年次では「書評」になっているかを意識してプレゼンを組み立てる。</p> <p>○間違えやすい敬語と、正しい敬語の使い方について理解し、敬語を適切に使えるようにする。</p> <p>○熟語の構成や熟字訓について理解し、漢字を文や文章の中で使う。</p>	<p>*教科書の漢字を中心に小テストを実施する。</p> <p>*適宜小テストを実施し、口語文法の習熟を促す。</p>
2	<p>③連語・慣用句</p> <p>③四字熟語</p> <p>③曖昧な文・分かりづらい文</p> <p>③送り仮名</p> <p>③④書写</p> <p>③④国文法の総復習</p> <p>④他教科で学ぶ漢字（2）</p> <p>④百人一首（10首）</p>	<p>○連語や慣用句、四字熟語について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>○文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。</p> <p>○送り仮名の付け方について理解し、漢字を文や文章の中で使う。</p> <p>○2学期のみ週1時間「書写」の授業を行う。文字の成り立ちと移り変わりについて知り、文字文化への関心を高める。</p> <p>○これまでに学習した文法の理解を深める。</p> <p>○他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使えるようにする。</p> <p>○総合学習（百人一首大会）に向けて厳選された10首の理解を深める。</p>	<p>*教科書の漢字を中心に小テストを実施する。</p> <p>*適宜小テストを実施し、口語文法の習熟を促す。</p>
3	<p>⑤国文法の総復習</p> <p>⑤紛らわしい漢字</p> <p>⑤間違えやすい言葉</p>	<p>○これまでに学習した文法の理解を深める。</p> <p>○形や音の似た、紛らわしい漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使う。</p> <p>○読み間違えたり書き間違えたりしやすい言葉について理解し、漢字を文や文章の中で使う。</p>	<p>*教科書の漢字を中心に小テストを実施する。</p> <p>*適宜小テストを実施し、口語文法の習熟を促す。</p>